

様式第7号（第21条関係）

AAR発番 23095号

令和5年 6月28日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 東京都品川区上大崎2丁目12番2号 ミズビル7階

団 体 名 特定非営利活動法人 難民を助ける会

代表者職・氏名 理事長 堀江 良彰

電 話 番 号 03-5423-4511

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人 難民を助ける会
- 2 事業実施期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

県内の小・中学校等、県民が関与する教育機関等において、グローバル人材育成の観点から、国際社会の課題（難民・国内避難民、地雷・不発弾、感染症、障がい者支援、災害支援等のグローバル・イシュー）について出前講座および活動報告会を開催する。併せて、広く一般市民を対象にしたイベントに出展し、当会の支援事業内容等を知ってもらうことで、共生社会の醸成を図る。

また、支援事業として、国内外での難民支援や感染症対策、災害支援等に関連した業務を行う。特に、県内の難民支援として実施する、母国で安全な生活を送れない人が佐賀県内に一時滞在するための環境整備は、県民含め誰もが住みやすい社会を形成することにつながる。また、災害対応やそのための準備を進めることによって、佐賀県民の減災・防災力を高めることになる。さらに、海外での支援事業は、上記の国際理解教育において現代のグローバル・イシューを扱うために重要なテーマになり、学習者の当事者性を高めることができる。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

1,000名を超える一般市民・児童・生徒（延べ1,152名）が、国際社会の諸課題（紛争、難民問題、地雷問題、感染症対策、水・衛生問題、災害被災者支援等）について、現状と課題を理解し考える機会を提供できた。グローバル人材としての成長を目指す動機付けとなったことを期待する。

異文化の存在を理解し、国際感覚の醸成による多文化共生社会の担い手の育成に寄与できた。
ウクライナ国外に退避せざるを得ない人々が、佐賀県を拠点に安心して暮らせるよう、佐賀県庁をはじめ行政機関や多様なCSOと協力し、体制を整備した。引き続き、避難者と県民とが共生していく社会の実現を目指す。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

ウクライナ国内で危険な地域からより安全な地域へと避難している国内避難民の方々や、国を超えて隣国モルドバへ逃れた人々、またミャンマーからバングラデシュへ逃れて、難民キャンプで生活する等困難な状況にある人々の支援を行った。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 (①目的②対象者③実施内容)	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位:円]	うち寄附金 活用額 [単位:円]
①出前講座及び講演	①グローバル人材育成 ②教育機関等 (のべ人数670名) ③国際社会の課題について出前講座および活動報告会を開催	①6/30 ②群馬パース大学(群馬) ①7/15 ②千代田西部小学校 ①9/8・9/29・10/6 ②武雄看護リハビリテーション学校 ①9/7・11/25 ②佐賀北高校 ①9/16 ②佐賀農業高校 ①11/11 ②西唐津中学校 ①12/12・12/17 ②佐賀医師会立看護専門学校 ①12/15 ②敬愛中学校(福岡) (県の記載がないものは佐賀県)	1,402,138	1,402,138
②イベント出展等	①共生社会の醸成 ②一般市民 (のべ人数482名) ③イベント出展や、ラジオやテレビ等のメディア出演・寄稿等で活動内容を知ってもらう	①4/7 ②インターFM(東京) ①4月 ②NHK佐賀 ①5月 ②日本障害者協議会(東京) ①5月 ②子育て文化ネットワーク ①5/18 ②えびすFM ①5/21 ②佐賀大学医学部 ①5/27 ②オンライン ①6/16 ②NTT労働組合(東京) ①6/18 ②中央社会保障推進協議会(東京) ①6/19 ②JICA九州佐賀デスク ①6/22 ②福岡虹の会(福岡) ①6/2 ②AAR主催報告会(東京) ①6/26 ②オンライン ①7/17 ②佐賀市立図書館 ①7/28 ②日本郵船(東京) ①8/5 ②オンライン ①8/7 ②シアターシエマ ①10/17~24 ②市民活動プラザ1階廊下 ①10/21~11/17 ②エスプラッツロビー ①10/20~3/13 ②佐賀東信用組合各支店 ①10/30 ②武雄市中央公園 ①11/1~ ②インターナショナルバルーンフェスタ ①2/9・13 ②佐賀県庁 ①2/10 ②L-terrace ①3/2 ②嘉瀬町老人クラブ ①3/11 ②わいわいコンテナ (県の記載がないものは佐賀県)	2,335,115	2,335,115
③災害支援等	①災害に対する準備 ②佐賀県における被災者(災害がなかったため対象者無) ③佐賀災害プラットフォームへの参加	①月例情報共有会議への参加 ②佐賀市	36,000	36,000

④ウクライナ避難 民受入	①佐賀県に滞在するウクライナ避難民 の支援 ②ウクライナ避難民約30名 ③佐賀ウクライナひまわりプロジェク トへの参加	①月例情報共有会議への参加・ 避難者宿舎の整備など参加 ②佐賀市	84,000	84,000
⑤海外での支援業 務	<ul style="list-style-type: none"> ・ウクライナ難民支援等 ①ウクライナ国内避難民やモルドバに 逃れたウクライナ難民の支援 ②ウクライナ国内避難民・モルドバに 逃れたウクライナ難民 ③ウクライナ国内や隣国モルドバにお いての支援方法検討 ・ Bangladesh ロヒンギャ難民支援 ① Bangladesh におけるロヒンギャ 難民支援 ②ロヒンギャ難民・受け入れる立場と なる Bangladesh の地域住民 ③子供や女性の為の施設運営 	<ul style="list-style-type: none"> ①2022年4月～2023年3月 ②日本からの後方支援 ①2023年3月～5月 ② Bangladesh ロヒンギャ難 民キャンプ 	4,000,000	4,000,000
	固定IPアドレス導入		50,000	50,000
計			7,907,253	7,907,253

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位：円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位：円]
計			0	0

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		11,200,000
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	11,200,000
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	10,919,366
	前年度控除額(県事務経費)還付分	280,634
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		11,200,000
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	7,907,253
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	3,292,747
	返礼品等の調達に係る費用	2,052,088
	返礼品等の送付に係る費用	582,444
	広報に係る費用	454,600
	事務に係る費用	203,615

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)		0
-------------------------------------	--	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

https://aarjapan.gr.jp/about/#s_3